



平成28年8月19日

各 位

会社名 株式会社テクノメディカ  
代表者名 代表取締役社長 實吉 政知  
(コード: 6678、東証第1部)  
問合せ先 経営管理部長 萩原 一志  
(TEL. 045-948-1961)

(訂正) 「平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部訂正について

当社は、平成26年8月5日に開示いたしました「平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日(平成28年8月19日)付「平成28年3月期決算短信及び過年度に係る決算短信等(訂正版)の公表について」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以上

(訂正後)



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年8月5日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 テクノメディカ  
 コード番号 6678 URL <http://www.TechnoMedica.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 實吉 政知  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経営管理部長 (氏名) 野田 哲 TEL 045-948-1961  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	<u>1,689</u>	<u>△4.7</u>	<u>383</u>	<u>△19.7</u>	<u>383</u>	<u>△19.6</u>	<u>248</u>	<u>△15.2</u>
26年3月期第1四半期	<u>1,772</u>	<u>1.1</u>	<u>477</u>	<u>9.4</u>	<u>477</u>	<u>9.3</u>	<u>292</u>	<u>8.5</u>

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	<u>28.37</u>	—
26年3月期第1四半期	<u>33.44</u>	—

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき300株の割合で分割し、単元株式数を100株とする単元株制度を採用しております。  
 これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	<u>11,914</u>	<u>10,397</u>	<u>87.3</u>
26年3月期	<u>13,363</u>	<u>10,438</u>	<u>78.1</u>

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 10,397百万円 26年3月期 10,438百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	33.00	33.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	33.00	33.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成27年3月期の業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,220	6.4	1,015	7.1	1,016	7.1	644	6.8	73.51
通期	10,019	11.3	2,302	6.8	2,306	6.8	1,447	6.8	165.18

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	8,760,000株	26年3月期	8,760,000株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	58株	26年3月期	58株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	8,759,942株	26年3月期1Q	8,760,000株

当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき300株の割合で分割し、単元株式数を100株とする単元株制度を採用しております。

これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、緩やかな景気回復基調にあるものの、平成26年4月に実施された消費税率の引き上げと、増税前の駆け込み需要の反動減により景況感が悪化するなど、一時的な落ち込みが見られました。

また、世界経済は、米国での景気動向に改善が見られる一方で、新興国における成長の鈍化や、世界各地における地政学的リスクの顕在化など、予断を許さない状況となっております。

国内医療業界では、平成26年4月1日の診療報酬改定が0.1%のプラス改定であったものの、消費税引き上げに伴うコスト補填分を除けば実質1.26%のマイナスであることから、この改定による影響を見きわめようと、当第1四半期において設備投資には抑制的でありました。この結果、当社の国内装置販売台数は前期比減少致しました。一方、装置の販売単価は前期比ほぼ横ばいであり、装置売上高は今後、底堅く推移するとみられます。この為、平成26年9月(中間期)の事業計画は据え置きとしております。

このような経営環境の中で、当社では採血管準備装置の主力機種であるBC・ROBO-8000RFID、全自動尿分取装置UA・ROBO-2000RFIDに加え、健診施設・クリニック向けの卓上型採血管準備装置BC・ROBO 6を前期より製品ラインナップに追加し、積極的な販売活動を展開してまいりました。

その結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,689,628千円(前年同期比4.7%減少)となりました。国内医療業界における診療報酬改定と消費税引き上げの影響等により、装置売上高が前期比減少致しました。また、当第1四半期累計期間の総売上高に対する海外売上高の占める割合は、前年同期比5.3ポイント増加し14.7%となりました。

利益面に関しては、売上減少により売上総利益は914,774千円(前年同期比7.1%減少)、販売費及び一般管理費は531,543千円(前年同期比4.7%増加)となり、営業利益は383,231千円(前年同期比19.7%減少)、経常利益は383,779千円(前年同期比19.6%減少)、四半期純利益は248,528千円(前年同期比15.2%減少)となりました。

#### <品目別の販売状況>

##### ・採血管準備装置

当第1四半期累計期間における採血管準備装置の売上高は578,218千円(前年同期比23.9%減少)となりました。

国内市場における売上高は、428,251千円(前年同期比33.5%減少)、海外市場における売上高は、149,966千円(前年同期比29.8%増加)となりました。

##### ・検体検査装置

当第1四半期累計期間における検体検査装置の売上高は93,651千円(前年同期比8.5%増加)となりました。

国内市場の売上高は、中小規模病院向けの営業活動を重点的にを行い、前年同期比17.9%増加の83,218千円となつた一方、海外市場の売上高は前年同期比にて振るわず、10,432千円(前年同期比33.7%減少)となりました。

##### ・消耗品等

当第1四半期累計期間における消耗品等の売上高は961,951千円(前年同期比7.8%増加)となりました。

装置の累計販売台数の増加により、消耗品の売上は当第1四半期においても堅調に推移し、国内市場における売上高は874,065千円(前年同期比2.1%増加)、海外市場における売上高は87,886千円(前年同期比146.7%増加)となりました。

##### ・その他

当第1四半期累計期間において、その他の売上高は55,806千円(前年同期比60.0%増加)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産の残高は11,914,691千円となり、前事業年度末比1,448,453千円減少しました。これは主に現金及び預金が420,259千円減少、売掛金の回収が順調に進んだこと等により売上債権が835,474千円減少したことによるものであります。

当第1四半期会計期間末の負債の残高は1,516,811千円となり、前事業年度末比1,407,904千円減少しました。これは主に、平成26年3月期第4四半期において販売をおこなった製品仕入に係る支払が滞りなく進んだこと等により仕入債務が1,039,244千円減少、法人税等の納付により未払法人税等が390,005千円減少したことによるものであります。

当第1四半期会計期間末の純資産の残高は10,397,880千円となり、前事業年度末比40,549千円減少しました。これは配当金の支払が289,078千円、四半期純利益が248,528千円であったことによるものであります。なお、自己資本比率は87.3%となり、前事業年度末比9.2ポイント上昇しました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月14日付の平成26年3月期決算短信で発表した平成27年3月期第2四半期累計期間並びに通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,119,062	5,698,803
受取手形	783,984	1,052,532
売掛金	<u>2,470,817</u>	<u>1,366,796</u>
商品及び製品	<u>2,022,209</u>	<u>1,840,287</u>
仕掛品	90,757	103,524
原材料及び貯蔵品	68,120	77,081
前払費用	9,984	7,715
繰延税金資産	<u>108,280</u>	<u>99,042</u>
その他	<u>9,952</u>	1,996
貸倒引当金	<u>△9,642</u>	<u>△10,656</u>
流動資産合計	<u>11,673,528</u>	<u>10,237,123</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物	892,800	892,800
減価償却累計額	△435,422	△442,653
建物(純額)	<u>457,377</u>	<u>450,146</u>
構築物	4,077	4,077
減価償却累計額	△3,178	△3,207
構築物(純額)	<u>898</u>	<u>870</u>
機械及び装置	148,500	148,500
減価償却累計額	△10,116	△20,011
機械及び装置(純額)	<u>138,383</u>	<u>128,488</u>
工具、器具及び備品	103,129	109,041
減価償却累計額	△66,907	△69,449
工具、器具及び備品(純額)	<u>36,222</u>	<u>39,592</u>
土地	787,326	787,326
有形固定資産合計	<u>1,420,208</u>	<u>1,406,425</u>
無形固定資産		
特許権	2,025	1,856
商標権	866	816
ソフトウェア	31,478	33,697
電話加入権	1,177	1,177
無形固定資産合計	<u>35,547</u>	<u>37,548</u>
投資その他の資産		
出資金	7,510	7,510
繰延税金資産	<u>100,221</u>	<u>99,835</u>
その他	126,128	126,248
投資その他の資産合計	<u>233,859</u>	<u>233,594</u>
固定資産合計	<u>1,689,616</u>	<u>1,677,568</u>
資産合計	<u>13,363,145</u>	<u>11,914,691</u>

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,547,174	507,930
未払金	179,333	75,946
未払法人税等	596,171	206,165
未払消費税等	25,385	64,353
未払費用	54,321	61,650
前受金	74,308	97,243
預り金	8,673	49,858
賞与引当金	112,000	157,900
役員賞与引当金	29,000	—
その他	1,129	740
流動負債合計	2,627,498	1,221,789
固定負債		
役員退職慰労引当金	220,685	224,085
製品保証引当金	56,100	51,322
その他	20,431	19,614
固定負債合計	297,217	295,021
負債合計	2,924,715	1,516,811
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,069,800	1,069,800
資本剰余金	967,926	967,926
利益剰余金	8,400,826	8,360,276
自己株式	△122	△122
株主資本合計	10,438,429	10,397,880
純資産合計	10,438,429	10,397,880
負債純資産合計	13,363,145	11,914,691



(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
売上高	1,772,865	1,689,628
売上原価	787,756	774,853
売上総利益	985,108	914,774
販売費及び一般管理費	507,895	531,543
営業利益	477,212	383,231
営業外収益		
受取利息	338	311
受取配当金	—	7
その他	430	252
営業外収益合計	768	570
営業外費用		
支払利息	418	22
営業外費用合計	418	22
経常利益	477,562	383,779
税引前四半期純利益	477,562	383,779
法人税、住民税及び事業税	163,190	125,627
法人税等調整額	21,430	9,623
法人税等合計	184,621	135,250
四半期純利益	292,941	248,528

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、医療機器、及びこれら装置で使用する消耗品の製造販売を主たる事業とする単一セグメントであるため、セグメント情報は作成していません。

(訂正前)



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 テクノメディカ  
 コード番号 6678 URL <http://www.TechnoMedica.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 實吉 政知  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経営管理部長 (氏名) 野田 哲 TEL 045-948-1961  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,330	△14.7	220	△22.4	221	△22.3	146	△18.4
26年3月期第1四半期	1,560	7.6	284	7.7	285	7.6	179	5.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	16.69	—
26年3月期第1四半期	20.43	—

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき300株の割合で分割し、単元株式数を100株とする単元株制度を採用しております。  
 これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	12,187	11,004	90.3
26年3月期	13,845	11,147	80.5

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 11,004百万円 26年3月期 11,147百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	33.00	33.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	33.00	33.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成27年3月期の業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,220	6.4	1,015	7.1	1,016	7.1	644	6.8	73.51
通期	10,019	11.3	2,302	6.8	2,306	6.8	1,447	6.8	165.18

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	8,760,000株	26年3月期	8,760,000株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	58株	26年3月期	58株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	8,759,942株	26年3月期1Q	8,760,000株

当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき300株の割合で分割し、単元株式数を100株とする単元株制度を採用しております。

これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、緩やかな景気回復基調にあるものの、平成26年4月に実施された消費税率の引き上げと、増税前の駆け込み需要の反動減により景況感が悪化するなど、一時的な落ち込みが見られました。

また、世界経済は、米国での景気動向に改善が見られる一方で、新興国における成長の鈍化や、世界各地における地政学的リスクの顕在化など、予断を許さない状況となっております。

国内医療業界では、平成26年4月1日の診療報酬改定が0.1%のプラス改定であったものの、消費税引き上げに伴うコスト補填分を除けば実質1.26%のマイナスであることから、この改定による影響を見きわめようと、当第1四半期において設備投資には抑制的でありました。この結果、当社の国内装置販売台数は前期比減少致しました。一方、装置の販売単価は前期比ほぼ横ばいであり、また医療施設での装置導入計画自体が見直しや翌期繰越しとはなっておりません。平成26年9月の大型案件も成約に至っており、この結果、装置売上高は今後、底堅く推移するとみられます。この為、平成26年9月(中間期)の事業計画は据え置きとしております。

このような経営環境の中で、当社では採血管準備装置の主力機種であるBC・ROBO-8000RFID、全自動尿分取装置UA・ROBO-2000RFIDに加え、健診施設・クリニック向けの卓上型採血管準備装置BC・ROBO 6を前期より製品ラインナップに追加し、積極的な販売活動を展開してまいりました。

その結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,330,975千円(前年同期比14.7%減少)となりました。国内医療業界では診療報酬改定と消費税引き上げ、海外では主として採血管準備装置の納入時期が第2四半期に集中していることにより、共に装置売上高は前期比減少致しました。また、当第1四半期累計期間の総売上高に対する海外売上高の占める割合は、前年同期と同じく7.5%となりました。

利益面に関しては、売上の減少により売上総利益は736,159千円(前年同期比9.7%減少)、販売費及び一般管理費は515,179千円(前年同期比2.8%減少)となり、営業利益は220,980千円(前年同期比22.4%減少)、経常利益は221,528千円(前年同期比22.3%減少)、四半期純利益は146,172千円(前年同期比18.4%減少)となりました。

#### <品目別の販売状況>

##### ・採血管準備装置

当第1四半期累計期間における採血管準備装置の売上高は255,058千円(前年同期比47.0%減少)となりました。

国内市場における売上高は、装置納入先数が前期比40%減少したことにより238,516千円(前年同期比42.3%減少)、海外市場における売上高は、装置納入先数が前期比75%減少したことにより16,542千円(前年同期比75.6%減少)となりました。

##### ・検体検査装置

当第1四半期累計期間における検体検査装置の売上高は88,217千円(前年同期比42.6%減少)となりました。

大手製薬会社向け電解質分析装置のスポット売上が前期にありましたので、国内市場の売上高は前年同期比40.3%減少の83,218千円、海外市場の売上高は4,999千円(前年同期比64.9%減少)となりました。

##### ・消耗品等

当第1四半期累計期間における消耗品等の売上高は951,715千円(前年同期比6.7%増加)となりました。

装置の累計販売台数の増加により、消耗品の売上は当第1四半期においても堅調に推移し、国内市場における売上高は874,065千円(前年同期比2.1%増加)、海外市場における売上高は77,649千円(前年同期比117.9%増加)となりました。

##### ・その他

当第1四半期累計期間において、その他の売上高は35,984千円(前年同期比6.0%増加)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産の残高は12,187,068千円となり、前事業年度末比1,658,883千円減少しました。これは主に現金及び預金が420,259千円減少、売掛金の回収が順調に進んだこと等により売上債権が1,230,326千円減少したことによるものであります。

当第1四半期会計期間末の負債の残高は1,182,473千円となり、前事業年度末比1,515,978千円減少しました。これは主に、平成26年3月期第4四半期において販売をおこなった製品仕入に係る支払が滞りなく進んだこと等により仕入債務が1,039,244千円減少、法人税等の納付により未払法人税等が459,017千円減少したことによるものであります。

当第1四半期会計期間末の純資産の残高は11,004,595千円となり、前事業年度末比142,905千円減少しました。これは配当金の支払が289,078千円、四半期純利益が146,172千円であったことによるものであります。なお、自己資本比率は90.3%となり、前事業年度末比9.8ポイント上昇しました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月14日付の平成26年3月期決算短信で発表した平成27年3月期第2四半期累計期間並びに通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,119,062	5,698,803
受取手形	783,984	1,052,532
売掛金	<u>3,434,973</u>	<u>1,936,100</u>
商品及び製品	<u>1,543,019</u>	<u>1,543,635</u>
仕掛品	90,757	103,524
原材料及び貯蔵品	68,120	77,081
前払費用	9,984	7,715
繰延税金資産	<u>130,017</u>	<u>115,941</u>
その他	<u>3,967</u>	1,996
貸倒引当金	<u>△75,348</u>	<u>△71,346</u>
流動資産合計	<u>12,108,540</u>	<u>10,465,984</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物	892,800	892,800
減価償却累計額	△435,422	△442,653
建物(純額)	<u>457,377</u>	<u>450,146</u>
構築物	4,077	4,077
減価償却累計額	△3,178	△3,207
構築物(純額)	<u>898</u>	<u>870</u>
機械及び装置	148,500	148,500
減価償却累計額	△10,116	△20,011
機械及び装置(純額)	<u>138,383</u>	<u>128,488</u>
工具、器具及び備品	103,129	109,041
減価償却累計額	△66,907	△69,449
工具、器具及び備品(純額)	<u>36,222</u>	<u>39,592</u>
土地	787,326	787,326
有形固定資産合計	<u>1,420,208</u>	<u>1,406,425</u>
無形固定資産		
特許権	2,025	1,856
商標権	866	816
ソフトウェア	31,478	33,697
電話加入権	1,177	1,177
無形固定資産合計	<u>35,547</u>	<u>37,548</u>
投資その他の資産		
出資金	7,510	7,510
繰延税金資産	<u>148,016</u>	<u>143,351</u>
長期未収入金	<u>65,896</u>	<u>53,836</u>
その他	126,128	126,248
貸倒引当金	<u>△65,896</u>	<u>△53,836</u>
投資その他の資産合計	<u>281,655</u>	<u>277,110</u>
固定資産合計	<u>1,737,411</u>	<u>1,721,084</u>
資産合計	<u>13,845,952</u>	<u>12,187,068</u>



(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,492,992	453,748
未払金	175,973	72,586
未払法人税等	518,523	59,506
未払消費税等	19,799	41,800
未払費用	54,321	61,650
預り金	8,673	49,858
賞与引当金	112,000	157,900
役員賞与引当金	29,000	—
その他	1,129	740
流動負債合計	<u>2,412,414</u>	<u>897,791</u>
固定負債		
役員退職慰労引当金	220,685	224,085
製品保証引当金	56,100	51,322
その他	9,251	9,274
固定負債合計	<u>286,037</u>	<u>284,681</u>
負債合計	<u>2,698,451</u>	<u>1,182,473</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,069,800	1,069,800
資本剰余金	967,926	967,926
利益剰余金	9,109,897	8,966,992
自己株式	△122	△122
株主資本合計	<u>11,147,500</u>	<u>11,004,595</u>
純資産合計	<u>11,147,500</u>	<u>11,004,595</u>
負債純資産合計	<u>13,845,952</u>	<u>12,187,068</u>

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
売上高	1,560,762	1,330,975
売上原価	745,961	594,815
売上総利益	814,800	736,159
販売費及び一般管理費	529,919	515,179
営業利益	284,881	220,980
営業外収益		
受取利息	338	311
受取配当金	—	7
その他	430	252
営業外収益合計	768	570
営業外費用		
支払利息	418	22
営業外費用合計	418	22
経常利益	285,231	221,528
税引前四半期純利益	285,231	221,528
法人税、住民税及び事業税	93,076	56,615
法人税等調整額	13,109	18,739
法人税等合計	106,185	75,355
四半期純利益	179,046	146,172

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、医療機器、及びこれら装置で使用する消耗品の製造販売を主たる事業とする単一セグメントであるため、セグメント情報は作成していません。